



# (1) 総括の見方

基本計画【前期】の取組みに関連する写真を掲載しています。



▲高浜市の未来を創る市民会議

## 目標(1) 市民とともに歩む経営を行います

基本計画【前期】に掲げた目標、目指す姿を掲載しています。

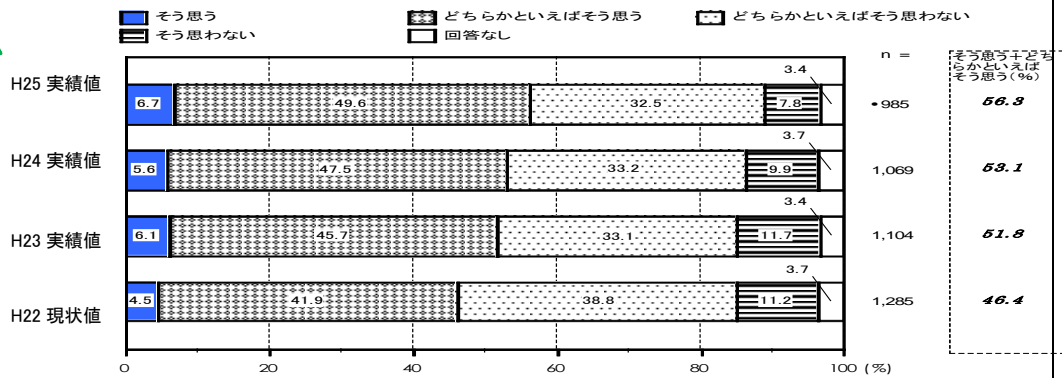
### I. 目標と目標の達成状況

#### 1. 目指す姿

目標達成に向けての考え方	「市民は高浜市の共同経営者である」という観点に立ち、政策形成過程や事業の実施・評価における市民参画を促進し、市民とともにP(計画)D(実行)C(評価)A(改善)サイクルをまわし、市民が主役の経営を行っていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 市民と行政がまちづくりの目標・課題・解決策といった情報を共有し、まちに対する愛着を深め、まちづくりに積極的に関わろうとする市民が増えています。</li> <li>◇ 総合計画の実行、評価や進行管理に多数の市民が参画し、わかりやすい経営が行われています。</li> <li>◇ 職員は、市民の意見をじっくり聞き、行政の考えをきちんと伝え、市民と真剣に対話しています。</li> </ul>

#### 2. 市民意識調査結果

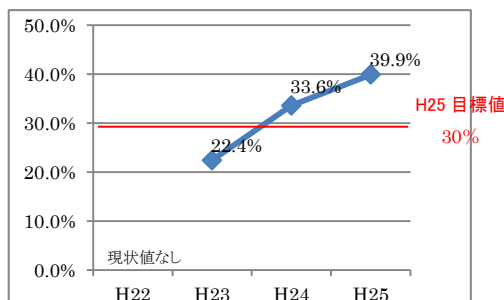
##### 【設問】市民に開かれ、市民が参画する市政経営が行われているまちだと思う



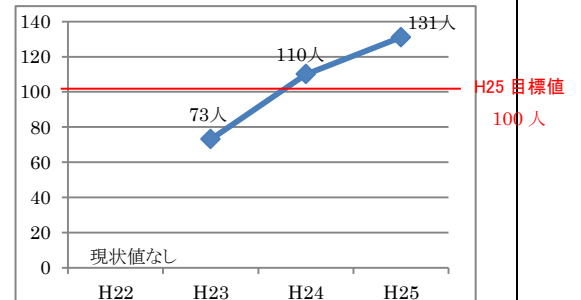
市民意識調査結果の推移を表しています。

#### 3. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 目指すまちの姿である「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を知っている人の割合



2) 総合計画の評価や進行管理に参加したことがある人の数



「みんなで目指すまちづくり指標」の推移を表しています。

#### 4. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する現状分析（要因・課題等）

- ◆「市民意識調査」結果は計画策定時から9.9%上昇し、市民とともに歩む経営が着実に進んでいる。年代が上がるほど「そう思う+どちらかといえばそう思う」の割合が高くなる傾向にあることから、若い世代に対するアプローチが必要である。
- ◆「指標1」は、市民の目に触れる各種資料・印刷物への掲載、ジャンパー・のぼりの作成、地域活動におけるチラシへのロゴ掲出など、地域や行政が様々な形で発信をした結果、目標値に達することができた。
- ◆「指標2」は、人材の掘り起こしや積極的な呼びかけを行った結果、目標値に達することができた。今後も、市政に対する関心を高め、「高浜市の共同経営者」意識を持った市民の増加につなげる取組みを進めていく。

「市民意識調査結果」や「指標の状況」を踏まえ、指標（目標）が達成できた要因・達成できなかった要因といった分析内容を記載しています。

#### Ⅱ. 目標達成のための主な取組み

★はマニフェスト事業で、優先度が高い事業であることを示しています。

掲げた目標の達成に向けて基本計画【前期】3年間の期間中にどんなことに取り組んできたのか、主な取組みを記載しています。

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
★総合計画の進行管理に行政評価システムを導入し、市民とともに、総合計画の実行、評価を行います。	①「総合計画推進会議」や「市民会議」を設置し、市民とともに総合計画の「点検・確認」、「目標達成に向けた取組み」を進めた。	H23.5 ～H26.3
	②「行政評価委員会」を設置し、アクションプランの外部評価を実施した。	H23.10 ～H26.3
	③「広報たかはま」等で総合計画の推進状況等の情報を発信した。	H23.6～
☆行政が実施していることを市民にわかりやすくお知らせします。	①広報紙の魅力向上に向けて、順次、紙面の改善を図った。 （1日号を2色刷に、「まちの話題」「カメラレポート」の充実、「月間行事カレンダー」の掲載、「撮っておき」のたかはま連載 など）	H23.4～
	②市公式HPリニューアルに向けた調査研究、現状分析などを行った。	H25.10～
☆市民ニーズに基づいた経営を行うため、市民意識調査などを実施し、多様な参画機会を創ります。	①「市民意見箱」制度を開始し、市民意見箱を3か所（市役所、いきいき広場、中央公民館）に設置した。	H23.4
	②「市民と行政のまちづくり懇談会」の対象を拡大し、「まちづくりトーク&トーク」へリニューアルした。	H24.10
	③「高浜市パブリックコメント条例」を施行した。	H25.4

基本計画【前期】の取組みから見えてきた課題を3つ挙げ、中期期間中（H26～H29）にどのように課題解決に取り組んでいこうと考えているのか、取組みの方向性を記載しています。

#### Ⅲ. 課題と今後の取組みの方向性

課題	今後の取組みの方向性
(1) 市民との協働による総合計画の進行管理のあり方 ・総合計画を実効性あるものにするため、市民会議を設置して市民とともに進行管理を行ってきたが、行政評価システムの導入により実効性が担保される仕組みができた。今後は市民への負担感等も考慮し、進行管理のあり方を見直す必要がある。	◇ 市民会議は前期で終了。「市民とともに進行管理を行う」精神を引き継ぎ、「総合計画推進会議」などで市民と行政が対話を重ねながら、進行管理を行う。 ◇ 総合計画のみならず、市民と職員がともに高浜市の将来について考える場「アシタのたかはま研究所」を設置・運営する。
(2) 「参画・協働・情報共有ガイドライン」の策定と具体的なアクションの展開 ・自治基本条例に規定した「参画・協働・情報共有」のガイドライン策定が遅れたため、行政全体としての行動指針が明確にできていない。	◇ ガイドラインに基づき、全職員の意識を高め、各部署において具体的なアクションを展開する。 ◇ 市公式フェイスブックの立ち上げ、「広報たかはま」への市民参加手法の取り入れなど、「キャッチボール型」の情報発信・情報共有の取組みを強化する。
(3) 行政評価システムの検証・見直し ・行政評価システム全体の検証を行い、中期基本計画の推進に向けて改善する必要がある。	◇ より効果的かつ効率的で、シンプルな仕組みを検討する。

主な取組みや目標達成状況などを踏まえ、今後に向けてのアイデアや想いなど、市民意見をまとめています。

#### Ⅳ. 第6次高浜市総合計画推進会議 コメント